

第 11 回国立国会図書館契約等監視委員会議事概要

開催日及び形式	令和 4 年 5 月 26 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分 Web 会議システムによるオンライン開催			
委員長及び委員	委員長 石田 晴美（文教大学経営学部教授、公認会計士） 委員 稲垣 隆一（弁護士） 委員 木村 琢磨（千葉大学大学院社会科学研究院教授） 委員 布施 伸枝（公認会計士）			
議事の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札及び契約に係る手続の運用状況報告 ・ 抽出結果報告 ・ 抽出案件の説明及び審議 			
審議対象契約期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日			
抽出案件	5 件	（備考）総数 303 件		
競争入札（工事）	1 件	契約件名：関西館本館大会議室舞台機構装置整備工事 契約相手方：株式会社博電舎 契約金額：1,452,000 円 契約締結日：令和 4 年 1 月 14 日 担当部局：関西館総務課		
		競争入札（物品役務）	2 件	契約件名：本庁舎等の清掃作業 1 式 契約相手方：株式会社クリーン工房 契約金額：89,654,400 円 契約締結日：令和 3 年 4 月 1 日 担当部局：総務部会計課
		契約件名：国内刊行図書原資料からの電子化 契約相手方：株式会社ムサン 契約金額：1,158,300,000 円（単価 81 円/1 コマ） 契約締結日：令和 3 年 6 月 8 日 担当部局：総務部会計課		
随意契約（物品役務）	2 件	契約件名：電子ジャーナル「ScienceDirect」の利用 契約相手方：エルゼビア・ビー・ブイ 契約金額：378,136,105 円 契約締結日：令和 3 年 4 月 1 日 担当部局：関西館収集整理課		
		契約件名：個人送信サービス開始に伴う情報探索サービスシステムの改修 1 式 契約相手方：株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング 契約金額：62,095,000 円 契約締結日：令和 3 年 8 月 26 日 担当部局：総務部会計課		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告	なし			

別紙

主な意見・質問	回答等
【関西館本館大会議室舞台機構装置整備工事】	
<p>・落札率が著しく低い、予定価格の設定は適切であったか。</p> <p>・施工前、施工後の品質・安全性の確認は十分に行ったか。</p> <p>(意見) 予定価格設定時の見積依頼先や徴取方法の改善など、事前の情報収集を丁寧に行っていただきたい。</p>	<p>・2者から徴取した参考見積を基に予定価格を設定した。</p> <p>・施工前に部材を確認するとともに、設置工事には監督職員が立ち会った。施工後は、装置を5回ほど動かして動作が従前同様であることと安全性を確認した。</p>
【本庁舎等の清掃作業 1式】	
<p>・1者応札が続いているようだが理由を教えてください。清掃作業で業者が限られることはないと思われる。</p> <p>・新型コロナ対策として消毒作業を追加しているようだが、実施後の報告書提出を求めているのか。</p> <p>(意見) 分割発注の可否の検討、新規業者開拓のための働きかけなどを積極的に進めていただきたい。</p>	<p>・応札辞退者にヒアリングしたところ、(特にコロナ禍においては) 人員が確保できないとの声が多かった。</p> <p>・消毒作業に特化した報告は求めているが、消毒対象箇所を見回るなどして作業の確認はしている。</p>
【国内刊行図書原資料からの電子化】	
<p>・本件では、総合評価落札方式(複数落札入札制度)という入札方式を導入しているが、制度の概要と導入の経緯を教えてください。</p> <p>・総合評価の技術点はどのように決めるのか、また技術を評価する委員会はあるのか。</p> <p>(意見) 総合評価にする場合に参入障壁があるのかないのかについてはエビデンスを示した方が良い。入札参加者が増えるよう最低作業数量(コマ数)を下げることを検討していただきたい。</p>	<p>・複数落札入札制度とは、予定数量が多い時に、その数量の範囲内で落札を希望する数量及びその単価を入札させ、予定価格を超えない単価の入札者のうち、低価の入札者から(総合評価の場合は最高得点の入札者から)順次予定数量に達するまでの入札者を落札者とする事ができる方式である。本件は予定数量 4500 万コマと大規模な電子化作業となるため、応札者が最適な数量を入札できる複数落札入札制度が適していると判断し、当該制度によって調達することとした。当館が複数落札入札制度による調達を行うのは、今回が初めてである。</p> <p>・事前に提出された提案書やサンプル画像を、評価基準に従って採点している。本件は、内部職員から構成される評価委員会で技術評価を行っている。</p>

【電子ジャーナル「ScienceDirect」の利用】	
<ul style="list-style-type: none"> ・金額が大きく供給業者が限られている契約だが、価格交渉はどのように行っているのか。 ・大学等他の機関との共同利用は可能なのか。 <p>(意見) 電子ジャーナルの調達では、他機関の動向も参考にして独占的事業者との価格交渉における工夫をしていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集事務を総括する東京本館の部署が、価格のうちコンテンツ料率について相手方事業者と交渉を行っている。 ・電子ジャーナルの他機関との共同利用は行っていない。
【個人送信サービス開始に伴う情報探索サービスシステムの改修 1 式】	
<ul style="list-style-type: none"> ・本件システム改修が随意契約となったのはどのような理由からか。 ・別に契約している本システムの保守業務とまとめられなかったのはなぜか。 ・予定価格の決定方法を教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働している情報探索サービスシステムに変更を加えるため、サービスに影響を及ぼさないよう改修を行う必要があり、当該システムの運用保守事業者と随意契約を締結した。 ・著作権法の改正を受けての事後的な改修であったため、スケジュール的に保守業務と一括では調達できなかった。 ・見積と市場価格（単価）を比較して決定した。